

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

秘

一、審議事項

第四十二回技術會議
第十部第十二回會議々事要旨

一、水・燃料・動力及消耗品節約に関する件

二、開催 昭和四年七月十三日

三、出席者 別紙記載

四、議事

(1) 技監 方今當所に於て眞剣に考ふべき問題の一は水の需給に関するものなり、曩に川崎造船所葺合工場に於ける水・電氣・瓦斯等の目覺ましき節約成績に就き仄聞せしが偶々野本技手他の用務を以て大阪地方に出張せるを以て該工場に於ける水其他の節約方法並其成績等に関する調査を命じたり

其報告に依れば單に水・電氣及瓦斯の節約のみにて其金額實に月二萬五千圓の巨額に上れるが故に其實施方法は本所に於りて好個の案

考資料たるべし。水の節約に就ては川崎に於けると同様先づ其供給
及使用量を明確ならしむべき「メーター」設置が必要なるを認め本年
は取敢ず之に對し四万圓の經費を計上したる次第なるが此等の設置
個所に就ては關係部課に於て適當に協定し設置後充分の實效を擧ぐ
べく努力せられたし、省細部に亘る取締りに關しては勞務部の助力
を籍るを要すべし、而して電氣、瓦斯、蒸汽等にも順次及ぼしたし
尙節約に由る利益の一部は他の獎勵制度も考慮に入れて之を
従業員に給與する程度迄進みたと自分としては考へ居れり
先づ川崎葦合工場に於ける燃料、動力其他の節約實績に關し野本技
手の説明を求む

〔野本技手より右に關し詳細説明あり、別紙参照〕

(四) 條鋼部長 由來「スチームメーター」は頗る曖昧なるものにて短期間
は兎も角長期に亘りては之に信を置く能はずと思ふ、良好の「メー
ター」ありや「バンプロンズメタル」は「ロールネット」に使用せらる

る由なるも耐用期間が十日等中途半把のものにては其效果少なかるべし

(イ) 技術課長 「ノーター」類の調査は此程歸朝せし安田技師に對し技監より特に命ぜられたれば相當調査濟の事と思料す

(ニ) 條綱部長 消耗品の節約に對する課長の取締り方法を知りたし

(ホ) 技術課長 葦合工場増山技師の談に依れば消耗品を新に渡す場合には使用不能となれるものを必ず提供せしめて取替へ課長必ず自ら之を検して其是非を定むと、右は其一例なり

(ヘ) 銑鐵部長 當部に於ては主要消耗品の價格を揭示し尙毎月の成績を従業員に示して其注意を喚起せるが果してどれ程の效果ありやは疑問なり

(ト) 化工部長 當部にありては器具保存の意味より甲、乙及丙組各別個の道具を所持せしめ其組の道具を使用すること、せり

(チ) 銑鐵部長 各種「ノーター」の取付單位如何

(リ) 野本技手 設備並に「メーター」及「メーター」を取付くべき對象の如

何等に依り必ずしも一定せず、一基又は一工場を單位とするもの
あり、一群の場合もあり、但し設備に依りては適當なる取付個所な
きたため其必要に迫られつゝ、尙其儘とされるものもあり、今後は「メ
ーター」設置を豫想して設備するの要あらん

(ス) 燃料部長 燃料及動力の節約は素より結構なることなれば何等かの
奨励法を設けて之を奨励すべきならんも先づ其前提として可成速に
各種「メーター」を設置し確實なる使用量を知りたし

(ハ) 技監 「ウォーターメーター」設置に對する豫算八万圓の中前述の如
く本年度に於て四万圓を計上しあるに依り差當り適當に大別して取
付け順次細別し行くこととしたし

(ニ) 第一土木課長 現在水量の確實なるものは遠賀川及河内の主管に於ける
もの位にして其他は「メーター」の設置なければ不正確なるを免れず
尤も「メーター」設置に關しては當部に於ても早くよりその必要を認

め遠く大正十一年の頃より度々豫算に計上して之が費用を要求せし
も通過せず今日に及びたるものなり

(7) 動力部長 電力に就きては直流は「モーター」整ひたれば確實なる數
量を知り得べし、交流は未だ其域に達せず

(7) 第一製鋼課長 電氣「モーター」の取付箇所は使用工場と協定を望む、尚
空氣及瓦斯量測定用の「モーター」は本所にては現在之を設置せる所
なきが如し可成速に之が設置を望む

(8) 動力部長 「モーター」は従來特別の場合を除き出來得る限り使用工
場の要望個所に設置せり、尙「スチームエングター」を使用せる所
は此際可成電動のもの、使用に努められたし

(9) 技監 海水の供給設備には尙餘裕あるに依り第二及第三製鋼等多量
の水を使用する處はなるべく海水を用ふる主意にて淡水及海水の交
互使用の講究を望む

而して戻水装置は出來得る限り速に其完成を望む

「ウォーターメーター」を始め各種「メーター」の設置箇所は各部より
其希望を提出せらるべし

六

出席者(十三名)

野田技監

佐々木總務部長

中原運輸課長

田尻勞務部長

鶴瀨銑鑛部長

吉川製鋼部長代理

景山條鋼部長

永田鋼板部長

黒田化工部長

岸原動力部長

山縣工作部長

足立第二土木課長

井村技術課長